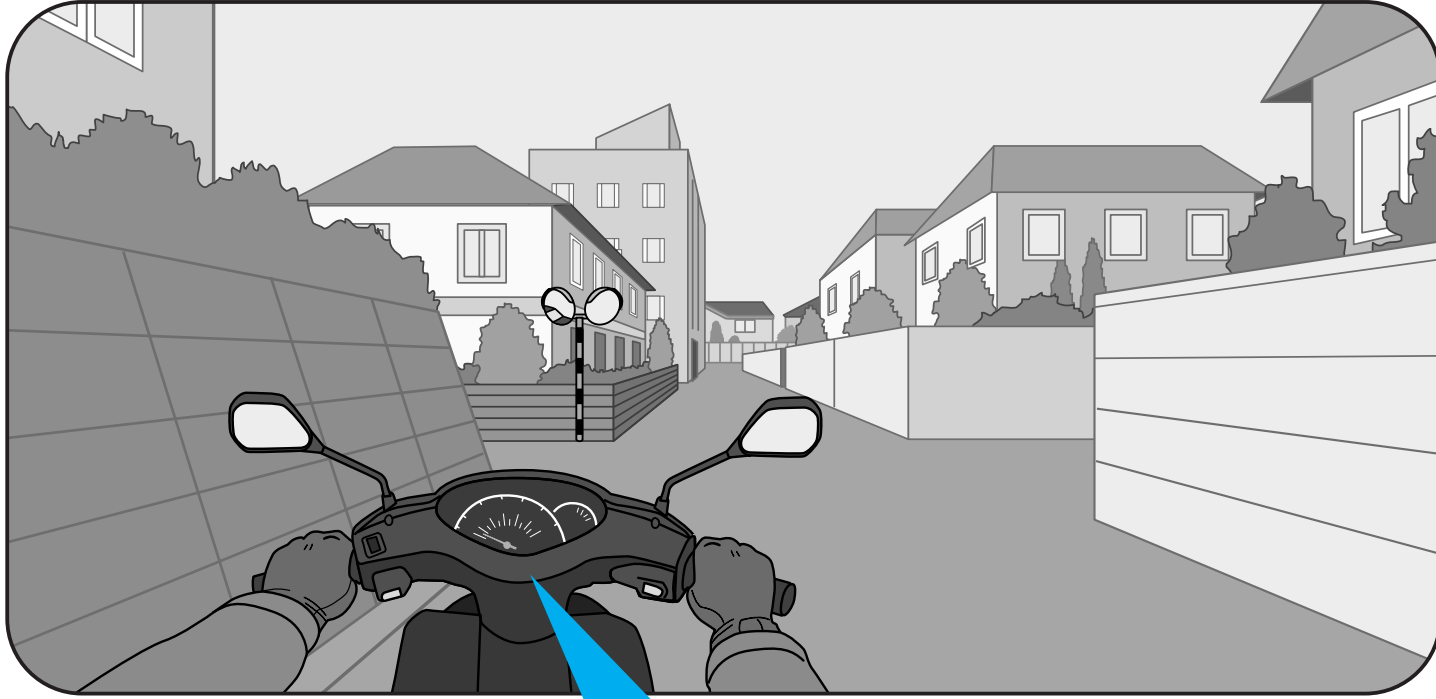


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第38回 見通しの悪い交差点 (二輪車編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は二輪車のライダーに、見通しの悪い交差点での危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは住宅地を走っていて、見通しの悪い交差点に進入しようとしています。交差する道路の道幅は同じようです。

このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 19

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



宮崎県・宮崎南地区交通安全協会の交通安全指導員の皆さん
写真左から、まもりん(宮崎県交通安全協会シンボルマスコット)、後藤江里さん、佐師博子さん、黒川恵利さん、山下好生さん、吉村直子さん

楽しく、わかりやすく伝えるために常に新しいものを取り入れる

宮崎県交通安全協会では、県内を13の地区に分けて交通安全教育を展開している。その1つが宮崎南地区交通安全協会である。宮崎市の南部地域を6名の交通安全指導員が担当し、平成25年度は幼児、小・中学生、高齢者を中心に206回の交通安全教室を開催した。

「交通安全という堅苦しいイメージを持たれている方も多いので、いかに楽しく、わかりやすくお伝えするかということに重点を置いて取り組んでいます」と、佐師博子さんは話す。

幼稚園や保育所での交通安全教室では、交通安全指導員の皆さんが手づくりした教材(写真参照)を使って、信号の色の意味など基本的な交通ルールを幼児に理解してもらう。小学校では校庭に信号機を設置し、低学年には歩行者教育、高学年は自転車教育と実技による指導を行っている。高齢者には安全な横断方法、夜間の反射材の使用、自転車の交通ルール、クルマの後部座席でのシートベルト着用について、寸劇を通じて啓発している。

こうした指導内容については毎年、全員で見直し、新たなものを取り入れるように努め

ているそうだ。「例えば、最近は自転車のブレーキを使わずに足を出して止める児童が多いので、急ブレーキをかけて安全に停止する練習に時間を割くようにしました。高齢者向けの寸劇では、その年に流行した話題を盛り込んで、皆さんに興味を持ってもらうように工夫しています」と後藤江里さんはいふ。

★幼児向けの交通安全教室で使用する教材



オリジナルの紙芝居「おまちばあちゃんのちよっとおまち!」。遊ぶために急いで公園に向かう「まもるくん」が見通しの悪い交差点で飛び出したり、青信号の点滅で渡ってしまう。なぜ、そうした行動が危険なのかを「おまちばあちゃん」が諭すというストーリー。目と耳を使って、周囲の状況を確認することの重要性を幼児に理解してもらう

大型の街のイラスト。街の中で危険な行動をしている子どもがどこにいるか、幼児に出でてきて指し示してもらう。Hondaの交通安全教育プログラム「あやとりひよこ編」からヒントを得て制作したという



歩行者用信号機の赤、青、青点滅の意味を伝えるイラスト(写真上が表で、写真下が裏)

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

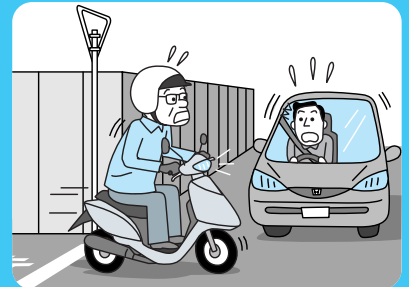


交通安全教室終了後には「とびだしはしません」「しんこうをまもりませう」「どろろではあそびませう」という約束が書かれたプレゼントを幼児に渡している

SJクイズ ?

Q1 原付一種(50cc以下)の交通事故死者数(平成15~24年累計)を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう?
① 16~24歳 ② 55~64歳
③ 65~74歳 ④ 75歳以上

Q2 原付一種の交通事故死者数(平成15~24年累計)を事故類型別にみると、出会い頭事故が最も多く全体の43.8%ですが、このうち高齢者(65歳以上)が占める割合は次のうちどれでしょう?
① 約35% ② 約45%
③ 約55% ④ 約65%



Q3 原付一種のヘルメット着用・非着用別の死者割合(平成15~24年累計)をみると、65歳以上の高齢者では非着用の死者割合は着用(ヘルメット離脱なし)の約何倍になっているでしょう?
① 約2倍 ② 約3倍
③ 約5倍 ④ 約7倍

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)